

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

**従業員と徹底的に会話する 高柳 正盛（「日経トップリーダー」編集長）**

1. 相変らず経営を取り巻く環境が厳しいからか、最近、複数の経営者に「今、経営者は何をすべきか」と尋ねられました。やらなくてはならないことが多過ぎて、どこから手を着ければいいのか迷っているようです。私は「従業員と徹底的に話してはいかがでしょう」と答えました。企業業績が低迷し、景気の先行きも不透明な中で、従業員は皆、多かれ少なかれ不安を抱えているからです。特に、中小企業においては、なおさらです。
2. 中小企業で働く従業員にとって支えとなるのは「この社長にだったらついていける」「この人と一緒に夢を追いたい」という思い以外にはないと言っても過言ではありません。一方で、中小企業には経営者が直接従業員と会話できるという、大企業にはないアドバンテージがあります。だからこそ、経営者が従業員に対して自らの思いや夢、事業に対する考えを語り、従業員の気持ちを聞くことが大切なのです。
3. これは経営者にとっても勉強になります。論理的な裏付けがあったり、体系立てて物事を説明できたりする力がなければ、技術指導や経営方針の説明などできないからです。

(参考:「日経トップリーダー」2011年1月号)

## 経営者のための危機管理

**会社で大地震に遭ったらどうすればよいか**

**鎌田 浩毅（京都大学大学院教授）**

1. 東京都と中央防災会議は、大地震が首都圏を襲ったときの帰宅困難者を 650 万人と試算しています。シミュレーションしてみると、自宅へたどり着くまで 1 週間以上かかる人が多数出るとのことです。そこで、平日の大半を過ごす会社で、個人でできる対策としては、机の下などに歩きやすい靴を 1 足用意します。また、帽子と手袋（軍手）も備えます。さらに、懐中電灯、携帯ラジオ、PET ボトル入りの水と食料も用意します。
2. では会社として用意するべきものは何でしょうか。まず全従業員が 3 日間滞在可能な量の水と食料が必要です。いつ帰れるかわからない人であふれ返るのですから、1 週間程度暮らせるだけの備蓄があるとよいです。また医薬品も用意します。電池や軍手、毛布などの防災用品も備えておけば万全です。トイレの問題は、実は地震災害の隠れた大問題です。携帯トイレを常備すれば、会社での滞在や帰宅時に使えます。

(参考:「週刊東洋経済」:2010年12月4日号)

## 人事・労務について

**仕事の結果は能力より熱意**

**佐々木 常夫（東レ経営研究所特別顧問）**

1. 会社を辞める人間というのは我慢強くないのです。苦手な上司の対応や不本意な異動、これらを乗り越えようと努力することこそが社会人として成長する道なのです。親や兄弟を選ぶことはできないし、能力や容姿も天からの授かりもの。仕事も同じで、運命は引き受ける、その覚悟を持ち続けてほしい。
2. 今の若者はすぐ疲れたと言ったり、諦めてしまう。それは自分を大切にしていないのと同じです。仕事に結果をもたらすのは、能力というよりも熱意です。そして熱意を生み出すのは一緒に働く人たちとの信頼関係であり、先輩や上司、取引先を慕う気持ちなのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2010年12月4日号)

## 古典に学ぶ

**思いどおりにならないことが多い**

「天下、意の如くならざる事、十に常に七、八なり」

(訳)「この世の中で、思いどおりにならないことが、つねに十のうち、七、八もある」というのです。これは、いつの時代でも組織の中で生きる者にとっては、共通の嘆きといってもよいでしょう。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」:日経ビジネス人文庫)